

2020年9月10日

 4つのポイント

①井村屋の歴史と新常态への新しい船出

②デジタル革命と活用

③ESG経営への取り組みとSDGsとの融合

④顧客満足経営の伸長と
イノベーションへの挑戦

「ニューノーマルを危機から機会へ！」



井村屋グループ株式会社
代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫



①井村屋の歴史と新常态への
新しい船出



1896年（明治29年）

創業

菓子舗井村屋
三重県松阪市で羊羹、和菓子の製造・販売を始める



井村和蔵

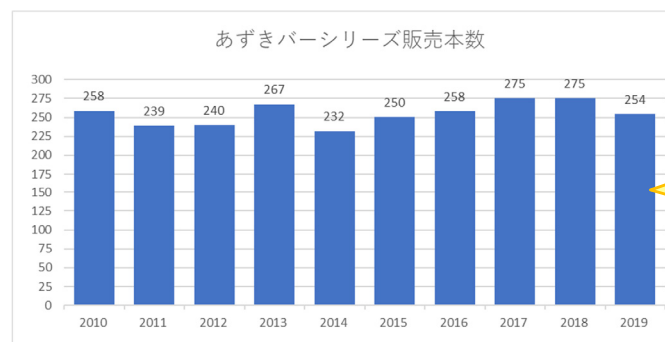
1947年（昭和22年）

「株式会社井村屋」をスタート

「あずきバー」が開発される

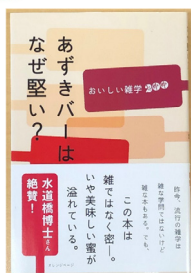


実質的起業社長
井村 二郎



2017年には
2億7千万本
突破！

「他にはないものを作る！」 創業者魂が生み出した商品



- ・あずき
- ・砂糖
- ・でんぷん
(コーンスターチ)
- ・食塩
- ・水

添加物不使用



「マツコの知らない世界」にて
新たな食べ方を紹介された



冷蔵庫で60分入れて
おくと柔らかくなって
食べごろになる

マツコ・デラックスさん

水ようかんみたい！とコメント

電子レンジで温めると・・・



添加物不使用のため
ぜんざいに戻る！

1本で3つの食べ方ができる
「不思議なアイス」

特色経営

人の真似をしない経営

- ・ブランド価値を生み出す
- ・無用な価格競争を避ける
- ・長期にわたる価値を生み出す

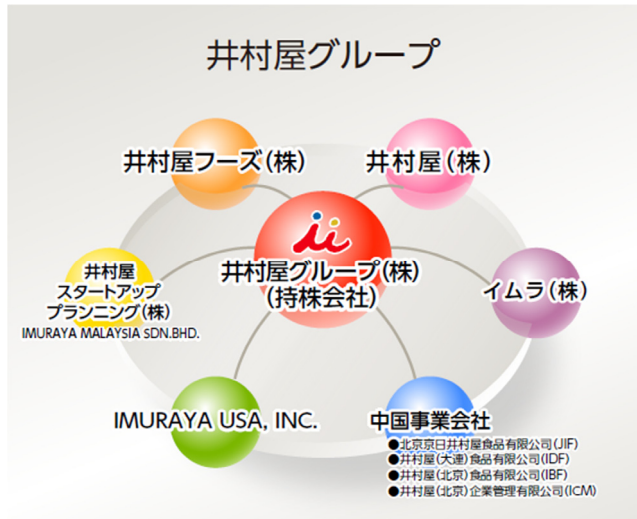


多様性・多角化への事業開発を生み出す

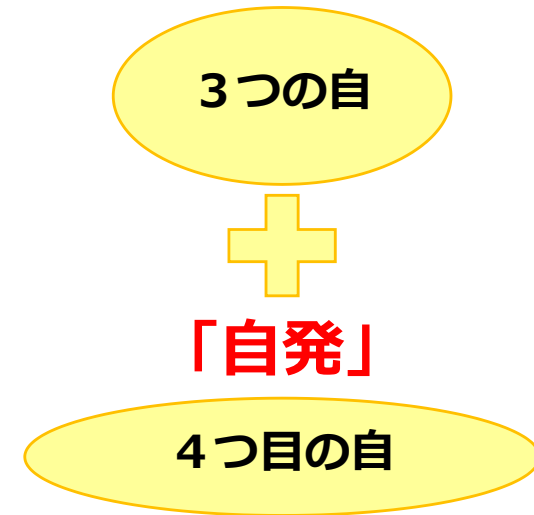


2010年 持株会社制導入
井村屋はグループ経営としてスタートを切る

サークル型の
経営スタイル



各事業会社は常に
「自主・自立・自律」の精神で経営を行う



Anna Miller's



JOUVAUD



KITTE名古屋店



中国

アメリカ

マレーシア



十分にマーケットになる素地がある



井村屋グループは
BtoB事業を保持
 「井村屋フーズ株式会社」



安定的な成果を上げ、貢献している。
 多様性事業を保持している特色

しかし、BtoB事業も
 結局は**BtoBtoC事業**である。

特色経営は顧客尊重につながり、
 成長拡大を志向することができる



- ・本年、2020年で創業123年
- ・2017年に東証一部上場

ニューノーマル時代にはいかに
 イノベーションできるかが問題である

不易流行の思想こそ新常态に生きる教え



「不易流行」

芭蕉の言葉

全社員が理解

守るべきことはしっかり守り、変
 えるべきは勇気をもって変更する



どの時代も、どのような場面でも

不易
 【原理原則】

原理原則、根本基本は
 動かしがたいもの
 として存在



② デジタル革命と活用



新型コロナウイルスのパンデミック以降

アジャイル経営 (Agile)

迅速・俊敏な経営が競争力を保持する源泉となる。

弊社でも競争に打ち勝てるように複数のプロジェクトを立ち上げ、対応を急いでいる。

基本となる機能がデジタル革命であり、オンライン化の実行

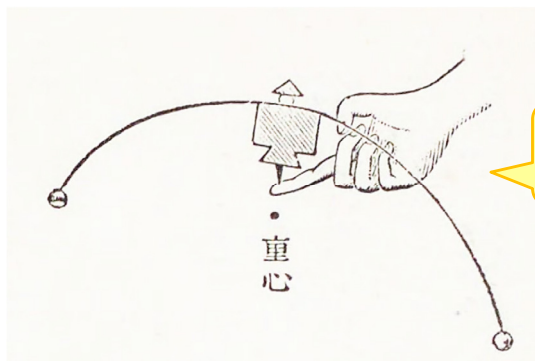


営業部門がZoomを使用して打合せしている様子

新入社員研修もリモートで行いました



バランスが大事なポイントの一つになる



やじろべいのように30対70が最も良いバランスの場合もある

バランスは各企業で異なる。
如何に最適なバランスを取るかが重要



新型コロナウイルスによって世界経済が大きな負担を受けた

今後は・・・

商品もマーケティングも時代沿った変革をしなければ淘汰される。

対応が難しい要因は・・・

人の行動の制限にある



<食品小売り業界>

冷凍食材への関心が高まっている

CVS・ドラッグストア業界も
冷凍ショーケースの拡大に動いている

<ドラッグストア業界>

薬品販売許可を持つスーパーになりうる

旧来の食品スーパーと新しい競合が始まる



最も大きな革命的な変化

EC (Electronic commerce)

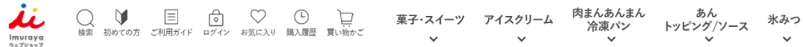
今後、さらに拡大していく。
配送業務においては競争激化を受けて提携・
合併なども起こりうる。



**Direct to Consumer (DtcC) の動きは
より活発化することが予想される**



井村屋(株)ウェブショップ



アクセスは
こちらから！



**③ ESG経営への取組みと
SDGsとの融合 (二つのE)**



ESG経営

井村屋グループ

ISOは全グループは環境も品質も認証している。

1993年（平成5年）から取組みが始まる



当時の教育担当 二宮氏

「今後必ず、環境問題が注目される時代が来る。環境問題への取組みは事業内容と合致し、社会的にも評価される内容になる。」

難しい取組みだが全体最適に向かって行動できる企業体に変われるぞ！」



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



プロジェクトを
立ち上げた

環境変化に応じてサステイナブルな企業成長を目指す

「お役立ち経営」



2つのE

Ecological は Economical



バイオマス ボイラ設置



冷凍商品保管庫
「アイアイタワー」



2020年 コージェネレーションシステム竣工



エネルギーの 「地産地消」を目指す

電力停止の事態にも都市ガスを活用して
自家発電を起動する

水源の確保

電源確保

2つのEプラス1つのS (Society)



コロナ問題は「社会性」に関して大きな投げかけをした

冷静に恐れよ！自分を守り、周りを守る

社会に守られ、社会とともに生き、成長する重要性を改めてニューノーマル時代に必須の事と感じた。

コロナ禍で重要な行動
「空気の入替え（換気）」

社会的変革につながる大きなテーマ



④ 「顧客満足経営」の伸長とイノベーションへの挑戦こそ生き残りの条件



アフターコロナでは
覚悟と強い挑戦力が求められる



弊社のシステム思考教育の講師
でもあり、環境学の
枝廣淳子氏

2017年 井村屋創業120周年の際
基調講演をいただいた

自分の手綱は自分で握れ！



多様な変化に打ち勝つためには

- ・ 常日頃から考える力をつける
- ・ 社員教育の重要性

レジリエンス

しなやかな強さ



松下幸之助氏

こけたら起きたらよろしい



コロナ禍後、原点に戻ることも重要だと考える

「顧客満足経営」に立脚する

新常態に向かって如何に創造していくかに注力する

継続から ⇒ **継栄**にするためには

イノベーションの実行・継続がキーとなる

ご清聴、ありがとうございました。



コロナによって消費の風景、
働き方は強制的に変化してきている

市場変化に対応するマーケティングが必要



是非に及ばず！

